



### 昔懐かしい紙芝居に魅了

市歴史博物館で収蔵している街頭紙芝居の上演が8月6日、同館で催され、約20人が参加しました。語り手は博物館ボランティアの井崎米子さん（米山）、大畑樹りさん、富士原幸恵さん（以上迫）と館員の4人。昭和30年代の「とんち三休さん」などの紙芝居やクイズが行われ、参加者は水あめを食べながら楽しんでいました。

### 交流事業で日本の文化を学ぶ

姉妹都市のアメリカテキサス州サウスレイク市から、7月20日から25日までの6日間、高校生14人と随行者が市を訪れました。訪問団は滞在中、ホームステイや剣道、書道などを体験し、日本の歴史や文化を学びました。最終日には中田町農村環境改善センターで歓迎夕食会が開かれ、佐沼鹿踊りなどで交流を深めました。



### 初体験の農作業などに大満足

神奈川大付属中の2、3年生169人が、7月30日から8月1日までの3日間、ファームステイをするために登米市を訪れました。受け入れは市内の44農家。子どもたちは、各農家で家畜の世話や野菜の収穫など、農作業を体験しながら交流を深めました。ザリガニ釣りやクワガタ採りなども行い、登米市の自然を満喫しました。

### アンパンマンがやってきた

石ノ森章太郎ふるさと記念館特別企画展「やなせたかしとアンパンマン展II」が7月から同館で開催されています。アンパンマンの絵本・カレンダー原画や、タペストリー、ぬいぐるみなどが展示され、夏休み期間中や週末は多くの家族連れでにぎわいを見せました。企画展は10月9日まで開催していますので、ぜひご覧ください。



平筒沼ではドラゴンボートに乗って楽しみました

市と姉妹都市の関係にある富山県入善町の小中学生ら18人が、8月7日から9日までの3日間、米山町を訪れ、町内の小中学校児童生徒と交流しました。

昭和初期、入善町の人たちが短台地区に入植し、開墾したのがきっかけで平成15年から交流を開始。これまで、自然や歴史・文化、スポーツなどをテーマに交流活動を行ってきました。交流団はバスで約8時間かけて米山町に到着。歓迎式では、入善町から特産のジャンボスイカが贈られました。その後、平筒沼ふれあい公園で、カヌーやドラゴンボートなどの水上スポーツを体験。沼周辺を探索するウォークラリーや流しそうめんなどで、登米市を満喫しながら交流しました。

### 自然を満喫し心と心の交流

#### 米山で姉妹都市交流事業



公園で流しそうめんをおいしそうに食べる子どもたち

### タバコと健康どちらを取る？

#### 南方で健康づくり講演会



タバコが人体に及ぼす害についての講演を真剣に聞く参加者

健康づくり講演会（南方町公衆衛生組合連合会主催）が8月2日、南方公民館で開催されました。生涯を通じた健康づくりと、潤いに満ちた快適な生活環境づくりを進めるため、今年度

から実施。各地区の保健活動推進員や地区住民ら約25人が参加しました。講師は、米谷病院上沼診療所の佐々木直英先生。「タバコが体に及ぼす害」と題し、タバコが人体になぜ悪いといわれているのかや、タバコの影響でかかる病気の種類などについて講演しました。愛煙家の参加者は「タバコは今までやめようと思ってもなかなかやめることができなかった。先生の話を聞いて体に悪いこともあると認識したので、やめるように努力したい」と話していました。

### 食の自立を目指して真心弁当

#### 豊里で配食サービス事業

独居・高齢者世帯の食の自立を目指して、市が社会福祉協議会に委託している「配食サービス事業」が、地区住民のボランティアにより豊里町内で毎週水曜日に行われています。

5グループある配食ボランティアが、交代制で豊里多目的研修センターの調理室で昼食の弁当を作成。宅配ボランティアが対象世帯へ届けています。



真心を込めて弁当を作っているボランティアの皆さん